

## アデノウイルス

お子さんは体温が高いので、朝夕の気温が低くても夜ふとんから飛び出していることが多いようです。

そのためか、鼻汁、おなかが冷えるお子さんが多く見られます。

熱はないけれど、鼻水ズルズル、咳込みます、というパターンが一番多いようです。



昼間の外気温が高くなってきたため夏カゼが少しずつ増えつつあります。

その夏カゼのほとんどがアデノウイルスです。

アデノウイルスは年中感染を起こすウイルスで、なおかつ眼、ノド、おなかなど全身の症状を起こします。プール熱（正式には咽頭結膜熱といいますが）の原因もアデノウイルスです。

アデノウイルスでやっかいなのは扁桃炎を起こし、

**熱が5日以上続く**ことがざらにあることです。

最高2週間熱が続いたお子さんを診たこともあります（後遺症なく無事でした）。

ウイルスですから抗生剤は全く効きません。

漢方薬にもなかなか反応してくれないことが多い印象です。



## カプセル・錠剤の漢方薬

うちではツムラのエキス製剤を中心に使っています。

ツムラのエキス製剤は粉薬ばかりです。

しかし粉薬が飲めない、入れ歯の間にはさまって痛いなどの苦情もあります。

コップにエキス剤と水を入れて10-15秒ほど温めて取り出し、かきまぜると完全にエキス剤のツブツブが溶けます。

これを冷まして飲みます。

それでもやっぱり粉薬は苦手な人には以下の情報を参考にして下さい。



小太郎(コタロー)漢方製薬のカプセルシリーズがあります。

麻黄附子細辛湯(まおうぶしさいしんとう)、三黄瀉心湯(さんおうしゃしんとう)、

茵陳蒿湯(いんちんこうとう)、安中散(あんちゅうさん)、黄連解毒湯(おうれんげどくとう)

についてはカプセルがあるので、飲みやすいです。

大杉(オースギ)製薬に錠剤があります。

小青竜湯(しょうせいりゅうとう)、五虎湯(ごこう)など

クラシエ(カネボウ)にも錠剤があります。

葛根湯(かつこんとう)、黄連解毒湯(おうれんげどくとう)など

## お知らせ

### 小児夜間急病センター当番日

6月6日(金)19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院にて

子ども健康セミナー開催のお知らせ 院内にて

6月21日(土)13:30- 『速効性で使える漢方処方』

